

道徳学習指導案

授業者 露木満利子

学級担任名 露木満利子

- 1 日時 平成30年10月30日（火曜日）5校時
- 2 学級 3年2組（教室） 男子14人 女子13人 計27人
- 3 主題名 目標に向かう意志
- 内容項目 A（4）希望と勇気、克己と強い意志
- 資料名 「やさしいうそ」

4 主題設定の理由

（1）ねらいとする道徳的価値

自分自身で目標を設定し、その達成を目指すことは、日々の生活や人生を充実したものにする。しかし、何か目標をもつと必ず、困難や障害が出てくる。目標と困難はセットのようなものであり、困難や障害が起こることによって、より自分の本心が明確になり、達成したいことへの意志が強まっていく。筆者のように、大変な困難や障害を経験したからこそ、そこから、「自分はどのような人生を送りたいのか」、「どのように自分というものを表現していきたいのか」に気づくこともある。困難や障害によって人は、「自分はこれをやりたい」という強い思いをもつ。それが、何があってもこの目標をやり遂げるのだという強い意志につながると思う。

本時は、交通事故で体の自由を失った筆者が、女優生命が断たれたと絶望していた時に訪ねてきた恩師の一言で、新たな目標を見だし、舞台をやり遂げた場面を中心場面として取り上げる。目標の実現には様々な困難を乗り越えなくてはならず、困難や失敗を経験することもある。そんな時に必要なのは、発想を変え、視点を転換することである。本資料を通して、生徒には「できないからあきらめる」のではなく、「自分の持っている力をどう活かしたらこの困難が乗り越えられるのか」という視点を持ち、目標をやりとげようとする態度を育ててほしい。また、自分の中にあるものに気づき、自分の生き方を視点を変えて見つめ直すことによって、新たな展開を開けるようになってほしい。本授業を通して、生徒が、困難や障害に屈せずに希望と勇気を持ち、最後までねばり強くやり抜く道徳的態도를高めることを期待する。

（2）生徒の実態

本学級では、学習や行事等において、目標に向かって地道に努力し、達成しようとする生徒が多く見られる。しかし、勉強してもテストで思うような結果が得られない。クラスの合唱練習で思うようにみんなの気持ちがあまらず、練習が円滑に進まない。このように、困難な出来事にぶつかったり、一度失敗を経験したりすると、自信喪失して途中で諦めてしまう姿も見られた。逆境から立ち直り、目標に向かって努力し続けるには、困難や失敗を受け止めて希望と勇気を失わない前向きな姿勢や、失敗にとらわれない柔軟でしなやかな思考が欠かせない。本資料を通して、生徒が、今の状況や自分の良さを見つめ直し、それぞれの進路に向けて、新しい展望を見いだすきっかけとなるようにしたい。そして、困難や障害に屈せずに、希望と勇気をもって最後までねばり強くやり抜く道徳的態도를高めたい。

5 本時の指導

（1）本時のねらい

絶望している時に訪ねてきた恩師の一言で新たな目標を見だし、自分の生き方を視点を変えて見つめ直し、舞台をやり遂げた時の筆者の気持ちを考えることを通して、困難や障害に屈せずに、希望と勇気をもって最後までねばり強くやり抜く道徳的態도를高める。

(2) 授業構想

まず、「今までに、諦めて後悔したことはあるだろうか。」と問う。生徒は「中体連直前まで、部活の練習に集中できていなかった。もっと頑張ればよかった。」「テスト勉強に、もう少し早めに取りかかっていたら、もっと高い点数が取れていたかもしれない。」「毎日こつこつと勉強していれば、テスト前にあんなに大変な思いをしなくてもすんだかもしれない。」等と自分の経験を振り返り、考えを述べるであろう。その後、テーマ「最後までねばり強くやり抜くとは？」を提示し、確認する。

テーマを確認した後、資料の後半部分を範読する。本資料は全て読むには時間がかかりすぎてしまうため、生徒は事前に資料を読んでおり、授業内では、中心発問に関係のある部分だけを範読する。範読後、「資料の中で、印象に残った場面をあげてみよう。」と問う。発言しやすい雰囲気を作るため、まず、近くの席の友達と考えを交流する時間を設け、その後、クラス全体で考えを聞いていく。生徒は「筆者が“一生寝たきりでしょうね。”と言われた場面。筆者はとてもショックだっただろうなと思った。」「絶望的な状況にも関わらず周囲の人に明るく振る舞う場面。自分だったら周りに当たり散らしてしまうと思う。」「電話をかける事ができて、ストレッチャーで運ばれながら筆者がオイオイ泣いた場面。鬼の松瀬さんの言葉や行動に感激した。」等と、様々な場面を挙げ、感想を述べるであろう。

印象に残る場面を挙げた後、「筆者は、誰にうそをついていたのだろう。」と問う。生徒は、「自分自身」「周りの人たち」等と考えを述べるであろう。ここでも、発言しやすい雰囲気を作るため、まず、近くの席の友達と考えを交流し、その後、クラス全体で考えを聞いていく。

その後、「筆者が“うそつき千津子”でなくなったのは、なぜだろう。」と問う。生徒は「尊敬する水上先生の言葉によって、考え方が前向きになった。また、周りの支えに気づいた。自分が語ることで誰かを助けたい、生きる希望を見せてあげたいと思うようになったから。」「語り部女優に挑戦する事により、舞台をやりきった達成感と、やり切ったという自信がついた。そして、新たな目標や希望、夢が生まれたから。」「自分の本音に気づいて努力することで、自分の生きる目的が見つかったから。」「自分には声がある、できることがあるということに気づき、前を向いて生きたいと思うようになったから。」等と自分の考えを発表するであろう。ここでも、近くの席の生徒同士で対話した後、全体に意見を聞いていく。生徒一人一人が、夢や目標を見つめ直し、筆者の姿から、自分の進路の展望にヒントを得ようとする態度が見られることを期待する。

その後、まとめとして、今日のテーマについての振り返りをワークシートに書く。ここでは、「萩生田さんのように、自分にもまだできることがあるかもしれないと思った。諦めずに、少しずつ努力してみようと思う。」「努力しても、必ず思い通りの結果に結びつくわけではない。でも、目標から逃げずに一生懸命に頑張ろうと思う。」「筆者のように、前向きな姿勢を忘れず、努力していきたいと思った。」等の考えを生徒は書くであろう。生徒が、困難や障害に屈せず、希望と勇気をもって最後までねばり強くやり抜く道徳的態度を高めようとする姿が見られることを期待する。なかなか考えがまとまらない生徒に対しては、板書を見ながら「自分と似た考えはあったか」「どの考えに共感したか」等と問いながら、個別に支援していきたい。

ワークシートに振り返りを記入した後、教師の説話を行う。生徒達のこれまでの努力を評価し、挑戦することから逃げないで努力し続けることが大切であることを伝えたい。そして、成長の足跡を記入して、本時を締めくくる。

つ
な
げ
る

○今日のテーマ「最後まで粘り強くやり抜くとは？」について、感じたり考えたりしたことをまとめよう。

- ・萩生田さんのように、自分にもまだできることがあるかもしれないと思った。諦めずに、少しずつ努力してみようと思う。
- ・努力しても、必ず思い通りの結果に結びつくわけではない。でも、目標から逃げずに一生懸命に頑張ろうと思う。
- ・筆者のように、前向きな姿勢を忘れず、努力していきたいと思った。

◇困難や障害に屈せず、希望と勇気をもって最後まで粘り強くやり抜く道徳的態度を高めようとしていたか。

(発表・ワークシート)

☆なかなか考えがまとまらない生徒に対しては、板書を見ながら「自分と似た考えはあったか」「どの考えに共感したか」等と問いながら、個別に支援していく。

◎本時のテーマを、もう一度確認し、それについての自分の考えを書くよう促す。

○教師の説話

○成長の足跡をまとめよう。

せりこじりん

テーマ

最後まで粘り強へせりこじりん

場面絵①
事故～転院

場面絵②
リハビリ生活



水上さんの言葉「語れ！」

場面絵③
水上勉さん

場面絵④
再起



- ・周りの支えに気づく。
- ・自分にもできることがある。
- ・生きる目的が見つかった。
- ・語り部女優＝使命
- ・誰かを助けたい。
- ・前を向いて生きたい。
- ・舞台をやって、自信がついた。
- ・新たな夢、目標が見つかった。

やさしいそ

名 前

組 番

- この時間に感じたこと、考えたことをまとめてみよう。

